

区 分	<input type="checkbox"/> 計画書 <input type="checkbox"/> 変更計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 実施状況報告書								
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都中央区日本橋本町3丁目3番6号								
氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	KJケミカルズ株式会社 代表取締役社長 丸山 学士								
事業概要	製造業 化学工業								
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/>	熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第1号該当特定事業者(大規模エネルギー使用事業者)	前年度の原油換算エネルギー使用量	5233.5 kl					
	<input type="checkbox"/>	熊本県地球温暖化の防止に関する条例施行規則第5条第2号該当特定事業者(自動車運送事業者)	県内登録の自動車数						
	<input type="checkbox"/>	特定事業者以外の事業者							
計画期間	2022 年度 ~ 2025 年度								
温室効果ガスの排出の抑制を図るための基本方針	2020年に策定したCO2削減計画(エネルギー起源CO2排出量を2013年度比、2030年までに50%削減)に基づき省エネを推進し、2025年度の温室効果ガス排出量を2020年度比で25%削減する。								
温室効果ガスの排出の抑制を図るための推進体制	CO2削減プロジェクトチームを発足し推進を図る。								
	環境マネジメントシステム名称	ISO14001-2015	適用範囲	八代工場	取得年月日	2004年 1月13日			
温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容	【設備更新等】 ・真空発生装置エネルギー源の変更(蒸気⇒電力) ・蒸気ボイラー設備燃料の変更(A重油⇒LNG) 【その他の措置】 ・再生可能エネルギーの活用(九州ecoプラン) ・熱ロス削減・排熱リサイクル検討								
温室効果ガス算定排出量等	年度区分	排出の状況及び目標			排出量等の実績				
		基準年度(2020)年度	前年度(2024)年度	目標年度(2025)年度	(2021)年度	(2022)年度	(2023)年度	(2024)年度	(2025)年度
	①排出量	8,834	13,563	14,471	9,886	7,923	12,403	13,563	
	燃料及び熱	5,277	8,756	10,359	5,913	4,895	8,192	8,756	
	電気	3,556	4,807	4,112	3,973	3,028	4,211	4,807	
	削減率・増減率(基準年度比)			63.8 %	11.9 %	△ 10.3 %	40.4 %	53.5 %	△ 100.0 %
	②補完的手段による削減量		3,986	3,556	942	1,998	3,521	3,986	
	森林整備等								
	再生可能エネルギー		142	113			66	142	
	グリーン電力証書等		3,844	3,443	942	1,998	3,456	3,844	
その他知事が認めるもの									
①-②差引後排出量	8,834	9,577	10,915	8,944	5,925	8,882	9,577		
削減率・増減率(基準年度比)			23.6 %	1.2 %	△ 32.9 %	0.5 %	8.4 %	△ 100.0 %	
原単位算定排出量等	排出量	1.768	2.501	1.718	1.667	1.429	2.132	2.501	
	削減率・増減率(基準年度比)			△ 2.8 %	△ 5.7 %	△ 19.1 %	20.6 %	41.5 %	△ 100.0 %
	差引後排出量	1.768	1.766	1.296	1.508	1.067	1.526	1.766	
	削減率・増減率(基準年度比)			△ 26.7 %	△ 14.7 %	△ 39.6 %	△ 13.7 %	△ 0.1 %	△ 100.0 %
原単位の考え方	エネルギーの使用に伴い発生する二酸化炭素(t-CO2)/生産数量(t)								

各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等	1年目 (2021)年度	<p>【設備更新等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高効率冷凍機への更新(M2プラント)⇒実施済。 <p>【その他の措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年10月より九州電力再エネECOプランの電力利用開始。 ・河水揚水量の見直し、ポンプ電力量低減⇒実施済。 <p>【計画の進捗状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気ボイラー設備燃料の変更(A重油⇒LNG)⇒調査中。 ・LED照明設備への更新:更新時都度切替実施中。
	2年目 (2022)年度	<p>【設備更新等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真空発生装置エネルギー源の変更(蒸気⇒電力)(M6プラント)⇒実施済。 ・曝気ブローを高効率・省エネ機へ更新⇒計画見直し、運転台数減にて対応。 <p>【その他の措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州電力再エネECOプラン利用中。 ・熱ロス削減・排熱リサイクル検討:蒸気ボイラー、プラントの保温材見直し都度実施中。 <p>【計画の進捗状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気ボイラー設備燃料の変更(A重油⇒LNG):2025年切替を計画。 ・LED照明設備への更新:更新時都度切替実施中。 ・太陽光発電設備をPPAによる導入を計画 →2022年度実施を計画
	3年目 (2023)年度	<p>【設備更新等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真空発生装置エネルギー源の変更(蒸気⇒電力)⇒計画中。新規導入は電力を選定。 ・蒸気ボイラー設備燃料の変更(A重油⇒LNG):2025年より段階的な切替を計画中。 <p>【その他の措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州電力再エネECOプラン利用中。 ・熱ロス削減・排熱リサイクル検討:蒸気ドレトラップ診断交換及び蒸気ボイラー、プラントの保温材見直し都度実施中。 <p>【計画の進捗状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電設備のPPAによる導入 →2022年10月より運用開始
	4年目 (2024)年度	<p>【設備更新等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真空発生装置エネルギー源の変更(蒸気⇒電力)⇒計画中。新規導入は電力を選定。 ・蒸気ボイラー設備燃料の変更(A重油⇒LNG):2025年より段階的な切替を計画中。 <p>【その他の措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州電力再エネECOプラン2024年10月度より使用予定量の80%から90%へ引き上げ。 ・熱ロス削減・排熱リサイクル検討:蒸気ドレトラップ診断交換及び蒸気ボイラー、プラントの保温材見直し都度実施中。 <p>【計画の進捗状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED照明設備への更新:更新時都度切替実施中
	5年目 (2025)年度	<p>【設備更新等】</p> <p>【その他の措置】</p> <p>【計画の進捗状況等】</p>
特記事項		

- 備考 1 □のある欄には、該当する□内に「レ印」を記入してください。
- 2 「計画期間」は、提出する日の属する年度以降5か年度以内の期間を設定してください。
- 3 「基準年度」とは、原則、熊本県地球温暖化の防止に関する条例に基づく地球温暖化対策推進計画の基準年度としますが、事業者が定める地球温暖化対策に係る計画において別に定める基準年度がある場合は当該年度を基準年度とすることができます。「前年度」とは、計画期間の前年度とします。また、「目標年度」とは、計画期間の最終年度をいいます。
- 4 温室効果ガス算定排出量の対象とする温室効果ガスは、エネルギーの使用に伴って発生する二酸化炭素とし、その単位はt-CO₂とします。
- 5 事業活動温暖化対策計画書を提出する場合は、「排出量等の実績」欄及び「各年度の措置の実施状況及び計画の進捗又は達成の状況等」欄は記入不要です。
- 6 原単位による目標を設定する場合は、「原単位算定排出量等」欄に記入してください。
「原単位の考え方」欄には、温室効果ガス排出量の抑制に係る取組等が適正に反映されると考えられる指標(生産数量、延べ床面積等)や設定に係る考え方等を記入してください。
- 7 「特記事項」欄には、過去の温室効果ガス排出削減に係る実績や地球温暖化防止に寄与する技術又は商品の開発等の取組があれば、記入してください。